



高級ジャンボ 利用者つかむ

両備タク

両備ホールディングス

グループ（岡山市、小島光信社長）の両備タクシーカンパニーが、昨秋導入したジャンボタクシーが好評だ。

トヨタ・ハイエースをベースに、ガソリンとLPガスを併用した低公害のバイフューエルタクシーで中国管内では初導入。9人乗りの「貸切タクシー需要」に応えている。

エンジンの始動時にガソ

リンを使用し、水温上昇後エンジン回転数が2千回を超えると自動的にLPガスに切り替わる。

観光目的というより通常の移動の利用が多く、「高級感を打ち出したことで人気が高く、月20回ほど稼働している」という。

車両価格は通常より100万円高い。2つの燃料搭載で連続走行距離も約700キロと従来タイプより倍増。遠方への走行でも給油回数が減るため、今後は長距離利用を期待している。